

第63回 原材料費・エネルギーコストの高騰に立ち向かうには？ IV

前回まで、原材料費・エネルギーコストの大幅アップという危機に際して、「適正な価格設定についての考え方」、「これを機に改善活動を進めてしまうこと」、「商品開発によって、利益率を上げて、少々の原価上昇を飲み込んでしまう」こと、そして「コストダウンによって利益をできるだけ確保すること」について書いてきました。

今回は、「コストダウン」に絡めて、今までも何回か紹介してきました「ムダ取り」についてまた書きます。

ずばり、やらないでもいいことをやめられれば、そのことに要するモノやエネルギーを消費しないで済みます。長年やめられずに続けてきたことを、これを機にやめてしまえないでしょうか。

『「工賃向上計画」策定・実現ノウハウ集 第二部 実現へのノウハウ（令和3年～5年度対応版）』にも、ムダ取りを中心とした手法がたくさん載せてありますが、今回は、「E CRS」について紹介します。

「E CRS」は、「排除、結合、交換、簡素化」の英語の頭文字をとったもので、作業改善に限らず改善活動のキーワードとしてよく使われるものです。

「排除する (Eliminate)」は、「やめる」あるいは「省略」することです。

- ・正月の挨拶まわりはやめる
- ・過剰な検査を一部省略する
- ・包装は必要なもの以外やめる

といったことです。まずはこれを検討し、やめることができなければ以下に進みます。

「結合する (Combine)」とは、

- ・理事会と職員会議を合同で行う
- ・賞与支給日を給与日まで繰り上げて、支給事務を同時に行う
- ・洗濯機が回っている間に他の作業をする（要員を兼ねる）
- ・納品と営業活動を兼ねる
- ・他の事業所と合同で研修会を行う（→講師謝金を節減）

といったことです。

「交換する (Rearrange)」とは、順序を変えることや、別のものに代替することです。

- ・品質検査を計量より先に行う（不良品を計量する時間を節減できる）
- ・材料を、同じ質でより安いもの、あるいは同じ価格でより質のよいものに替える
- ・道具を、より便利なものに換える（ホームセンターや専門店などで探すと意外な道具を発見できることがあります。）

といったことです。

「簡素化（単純化、簡単化）する (Simplify)」とは、

- ・作業を標準化する（「標準化」とは、手順書に従って、誰でも効率よく仕事ができるようにする方法です。）

- ・包装を簡易化する
- ・業務日誌の記載項目を減らす

といったことです。

その他、「ムダ取り」を含む業務改善の考え方について、『「工賃向上計画」策定・実現
ノウハウ集 第二部 実現へのノウハウ（令和3年～5年度対応版）』をご覧ください。

<https://www.shougai-syuurou.jp/plan.html>